

# 平成28年度病害虫発生予察注意報第1号

平成28年4月1日  
愛知県

作物名：ムギ類  
病害虫名：赤かび病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 やや多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 名古屋地方気象台3月31日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高く、降水量は多い見込みで、赤かび病菌の孢子飛散、感染に好適な条件になると予想される。
- (2) 「麦作管理支援情報第3号」（平成28年3月31日、企画普及部広域指導室発表）によれば、きぬあかりの出穂は、11月中旬には種した場合は平年や昨年産と比べ約10日早まり、出穂は4月初めと予想されています。

#### 4 防除対策

- (1) 本病は、開花最盛期から10日間程度の間が最も感染しやすく、この間に降雨が続く気温が高いと多発しやすいので、天候が回復次第、表を参考に薬剤を選定して、速やかに防除を行う。
- (2) 開花期以降も曇雨天が続く場合は、2回目の防除を行う（1回目の約7～10日後）。防除に当たっては、出穂期以降の使用回数、収穫前日数に注意する。

表 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内
小麦	ベルコート水和剤	収穫21日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)
	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内
	トップジンM水和剤 トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)
	ベフラン液剤12.5 ベフラン液剤25	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内
	トリフミン乳剤	収穫3日前まで	3回以内

#### 5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室  
電話 0561-62-0085 内線471